



謎の超笑力をもつ大魔王が、あなたに贈る不思議なムダ話

発行：トラベル・ミトラ・ジャパン (E-mail: daimao@travelmitra.jp)

ぼん子画

(570-0041) 大阪市北区天神橋 1-18-25 第3マツイ・ビル 201 TEL: 06-6354-3011

「われら高年期探検隊2 デカン高原」

渡印する前に一本の電話があった。深刻な内容である。しかしながら、渡印前のわが輩の脳みそはパンパンで、その人の悩みを受け入れるスキマはなかった。

「日本に帰ってから話をしましょう」

と電話を切った。

実は何度も相談を受けている。介護（攻撃性被介護者）に追い詰められている。その話を聞けば聞くほど気の毒になる。

読者諸氏はわが輩の本職を御存知だろう。わが輩はケアマネ（介護支援専門員）でもなく、ましてや心理カウンセラーでもない。唯のオヤジにすぎない。資格も能力もない。

わが輩が思うに、被介護者の性格の問題ではない。悪玉は誰も避けることが出来ない“老い”である。わが輩も老いが進むと、頑固オヤジになるのだろうか。

それに比べて、わが高年期隊員は個性や高齢頑固性はあるものの平常は紳士淑女である。問題は<疲労>だけである、とわが輩は思っているが、それでノー・プロブレムなのか？

さて、わが探検隊の話を進めよう。

朝の出発はゆっくりしよう、と考えた。ゆっくり目の朝食をとり、途中一カ所立ち寄ることにした。

ムンバイには1956年（昭和31年）建立の日本仏教寺院がある。1932年（昭和7年）に火葬場（日本人墓地）に草庵が創建され、現寺院はインド財閥ビルラー族が寄進したものである。

周辺はスラム街と高層マンションが並立している。

寺院は小さな保育園を運営しているが、スラム地域の子どもたちがかよってくる。彼らの幼い歌の歓迎を受けたが、さてさて、われら芸なし高年齢隊員はどうしようか。女性隊員が持参したお菓子を一人一人に手渡した。嬉しそうな子どもたちの表情を見た彼女の顔は、まるで“おばあちゃん”。（年齢的にも本当のお婆様だけど・・・）

お土産を届けるだけでは満足しないわが輩は、あることを思いついた。ファッション・ショーである。

いた！最高のモデルがわが隊員の中にいたのである。着物姿の男性隊員である。

（堅物あるいは論理派の隊員が受けてくれるのか？）

わが輩の疑念はすぐに払拭された。子どもたちの前でひらひらと蝶のように舞ってくれたのである。

子どもたちの笑顔は高年齢期の人にとって最高の妙薬である。これで心が和んだ。次に出発だ。

ムンバイから避暑地ロナウラまで 80 キロ程である。空港から約 2 時間で内陸部に進むとデカン高原丘陵が現れる。海拔 624m である。大阪奈良県境の生駒山ほどの高さである。ムンバイがうだる様な暑さでも、この辺りは涼しい。隣町カンダーラは、わが輩に言わせればインドのグランド・キャニオン（深い渓谷）である。しかも雨季の時は壮観な滝が何本も流れ落ちる。

ムンバイの富裕層や映画スターの別荘があり閑静な避暑地であったが、経済発展をした今日は家々で埋め尽くされてしまった。

実はこの地域にわが輩の知人友人が多い。

まず表敬訪問したのが、ヨーガ研究所である。この研究所は近代ヨーガ研究の発祥地である。もともとヨーガは行者の修行方法のひとつであった。一般の人が、ヨーガを実修することはなかった。

インド人が「ヨーガを毎日しているよ」と言えば、それはバクティ・ヨーガ（神を愛する行法）、誤解を恐れないで言うと浄土真宗のような信仰のことである。むしろ、身体操作をする行者はレベルが低いと思われていた。

その身体的な行法に、医学的なスポット・ライトをあてたのが創設者のクヴァラヤーナンダ（1883-1966）であった。伝統的行法を科学で解明しようと試みた。広く一般に開放されたのである。

老いを究極的に避けることはできないが、遅らせることはできるのではないだろうか。そのヒントが、この研究所にある。

ところで、わが隊員には最高齢の医師も含まれていた。わが輩は思っていた。きっとドクター隊員は、医学的な施設に関心をもつであろう、と。

ところが、わが輩の予測は見事に外れた。

実験室の見学と言っても、行者の臨床治験を実際に見るのでなく器具を見るだけになる。日本よりはるかに遅れた医療器具を見てもしかたがない。

だけれども、治験結果の解説もある。その医学的な感想を聞いてみたいと思っていた。

また、のんびりした学園風景は退屈だという隊員もでてきた。

隊員の好みと研究所のホスピタリティとの狭間で、わが輩は戸惑った。苦肉の策でバザール散策組と、研究所見学組に分かれることにした。

「もう一人わが輩はいないのか！」

不沈戦艦「大魔王船」は、もう難破するのか？

その解決策は、次回にまわそう。